

コロナ禍を越え、ともに生きる——教育はいま・・・

2021年7月25日（日）9:30～12:00

エルおおさか研修室2（5F）

コロナ感染症が収束せず緊急事態宣言を繰り返される中で、犠牲が子どもたちに押しつけられています。一方で、木川南小学校久保校長の提言が出されるなど、その現状、教育のあり方を問い直す動きも出てきています。

第9分科会では、学校で、フリースペースで、子どもたちと周りの大人はコロナ禍をどう過ごしたか、何を感じたかを交流し、それを土台として、教育のあり方、改革の方向＝教育マニフェストが見えてくるような論議が出来ればと思います。子どもをはじめ、教育にかかわるいろんな立場の人が、思いを発言できる場としていきたいです。ぜひご参加ください。

分科会に向けて、アンケート「まだまだコロナは続きそうだけど……どんな学校だったらいいか？聞かせてください」を集めています。久保校長提言についての意見もお聞かせください。

【2021ZENKO in 大阪の参加申し込み】

ZENKO ホームページで確認ください。

<http://www.zenko-peace.com/2021zenko>

連絡先：松田 090-1138-5776

matsuda.f.1208@gmail.com



当日のプログラム（予定）

◆3つの報告

- ・大阪のフリースペースひまわりから
- ・横浜のフリースペースたんぽぽとZoomで繋いで、当事者の思いを聞く。
- ・教職員の大阪市との団体協議の取り組みなど。

◆課題と方向性について提案

- ◆少人数のグループで交流・討議（30分）

◆全体で共有、決議案の確認

☆小学生・中学生・高校生のみなさん、小・中・高校生の保護者と、大学生・市民のみなさん、教職員の方へ、ぜひアンケートに声をお寄せください！

久保校長の提言より（抜粋）

…これほどまでに、子どもたちを生き辛くさせているものは、何であるのか。私たち大人は、そのことに真剣に向き合わなければならない。グローバル化により激変する予測困難な社会を生き抜く力をつけなければならないと言うが、そんな社会自体が間違っているのではないのか。過度な競争を強いて、競争に打ち勝った者だけが「がんばった人間」として評価される、そんな理不尽な社会であっていいのか。誰もが幸せに生きる権利を持っており、社会は自由で公正・公平でなければならないはずだ。「生き抜く」世の中ではなく、「生き合う」世の中であってはならない。…（中略）…子どもたちに直接かかわる仕事がしたいのだ。子どもたちに働きかけた結果は、数値による効果検証などではなく、子どもの反応として、直接肌で感じたいのだ。…